

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年12月17日

協議会名： 宝達志水町地域公共交通協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社敷浪タクシー	<p>(1)運行系統名 デマンドタクシー</p> <p>(2)運行区域 宝達志水町全域及び羽咋市の一部</p>	<p>昨年度の事業評価総括表では、地方運輸局等における二次評価結果において、実績向上に向けて具体的な改善策の継続検討、及び地域一体となった推進、適切な検証による持続性向上や利用促進の旨の評価結果であった。</p> <p>今年度は、H29から引き続き高齢者の運転免許自主返納に対するデマンドタクシー5,000円分の利用券配布に加え、高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種の際のデマンドタクシー無料利用券2回分の配布、町CATVでのデマンドタクシー紹介番組の作成を行っている。</p> <p>また、利用者アンケートを踏まえて地域公共交通計画を策定し、実績向上に向けた具体的な改善策を検討しており、協議会の審議を通じ、持続性向上、利用促進を図ることとしている。</p>	<p>A R3.1には豪雪もあったが、計画どおり運行するなど、事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されたと評価している。</p>	<p>C 生活交通確保維持改善事業では、利用者の目標はH28からH31の平均値を参考に7,300人以上の利用人数を設定していたが、下記のとおりの実績となった。</p> <p>R2.10月～R3.9月の実績 5,427人(▲9.1%)</p> <p>【参考】 R1.10月～R2.9月の実績 5,968人</p> <p>利用者の減少については、コロナ禍による外出抑制の影響が大きいと評価している。また、アンケート結果から、料金の高さに対する改善要望が多いことから、無料のコミュニティバスへの利用に移行していると推測している。</p>	<p>運転免許証の返納者の増加に伴い、公共交通のニーズは高まっていることが推測される。</p> <p>しかしながら、デマンドタクシーの利用者は、年々減少傾向にあることから、利用者のニーズを満たす公共交通になっていない可能性が高い。</p> <p>令和2年度から、当協議会において地域公共交通計画策定に取り組んでおり、デマンドタクシーを含めた公共交通の現況をアンケートにより整理した結果、利用者の満足度は総じて高いものの、利用料金の高さに対する改善要望が多かった。</p> <p>そのため、地域公共交通計画において、旧町区域内の運行価格を引下げることによる改善策を講じる方向で調整している。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年12月17日

協議会名:	宝達志水町地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>宝達志水町は、石川県の中央部、能登半島の付け根に位置している。西は日本海、東は宝達山麓に囲まれた田園地帯で、面積は111.51km²、人口は12,563人(R3.11月末現在)となっており、人口減少と少子高齢化に歯止めがかからない状況下にある。</p> <p>宝達志水町においては、隣市へ通じる唯一の幹線交通である鉄道路線(JR七尾線)があり、幹線をつなぐ交通手段としてデマンドタクシーが運行されている。</p> <p>デマンドタクシーは、平成21年9月に路線バスが廃止されて以降、地域住民が地域内を移動する地域公共交通として機能しており、特に自分で車を運転できない高齢者等の交通弱者にとって、通院や買い物など日常生活に必要不可欠な交通手段となっている。</p> <p>また、近年では運転免許証を返納する高齢者が増加しており、デマンドタクシーの役割は益々大きくなっていることから、地域公共交通確保維持事業により、デマンドタクシー事業を確保・維持することで、住民の交通手段を存続させていくことが必要である。</p>